

令和6年度

まちづくり推進部 雄物川地域局の方針書

局名	まちづくり推進部 雄物川地域局
局長名	土田 勉

1. 局の使命(ありたい姿)

地域の強みを発掘、育成し、地域に「元気」をつくり出します。

2. 局の抱える課題(現状)

- ・安全で安心な生活環境づくりと災害時における避難支援体制の基盤づくり
- ・少子高齢化により担い手が不足している地域活動に活気を取り戻す
- ・FM計画に沿った公共施設の有効活用と再配置を目指す

3. 今年度の『スローガン』

ここに暮らす皆が笑顔で活気のある地域をつくろう

4. 今年度の方針

- (1) 公共施設の適正な維持管理と有効活用による賑わいの創出を図ります。
- (2) 地区交流センター及び地域で活動する団体を支援し、市民参画によるまちづくりを推進します。
- (3) 市民サービスの向上のため、自ら考え行動できる職員・職場の実現を目指します。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	公共施設の適正な維持管理と有効活用による賑わいの創出
	取組内容	・道路、河川、公園、建物等公共施設の適正な維持管理と今後解体予定の老朽施設の協議を進めます。 ・中央公園や木戸五郎兵衛村、河川公園等の地域資源を有効活用し、地域の元気を創出する事業を推進します。
(2)	実現したい成果	地区交流センター及び地域で活動する団体を支援し、市民参画によるまちづくりを推進
	取組内容	・地区交流センター事業を主軸とした地域づくり活動を推進し、併せて防災機能、共助組織の拠点機能の構築・充実を図ります。 ・各種イベントを企画・実施する活動団体を支援します。 ・避難行動要支援者の更なる把握と情報の精度を高め、災害時の避難支援体制の基盤づくりを推進します。
(3)	実現したい成果	市民サービスの向上のため、自ら考え行動できる職員・職場の実現
	取組内容	・職員個々の業務・接客スキルの向上に努め、親しまれる職場づくりを推進します。 ・職員の行動指針と業務改善を常に意識しながら業務を遂行します。 ・地区担当職員として地区会議への積極的な参加と、地域づくり活動補助金等の制度周知・支援に努め、地域コミュニティの醸成を推進します。

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

(1) 公共施設の適正な維持管理と有効活用による賑わいの創出

- ・道路パトロールや住民等からの情報収集により、迅速かつ適切な施設の維持、及び補修作業を実施している。
- ・今年度より指定管理者制度を導入した雄物川中央公園、及び民家苑については、施設の管理体制が統一されたことから効率の良い運営となっている。
- ・FM計画を推進するため、地域局内におけるプロジェクト会議において対象となる各施設の現状と目標とする指標等の内容、及び今後の具体的な取組方法について再確認した。

(2) 地区交流センター及び地域で活動する団体を支援し、市民参画によるまちづくりを推進

- ・センター長会議、及び事務職員会議を毎月開催し、情報の共有化や個々のスキルアップを図っている。また、各センター便りを定期的に発行することで、地域に根差した行事の活動や生涯学習活動の理解を深めている。
- ・今年度初めての取組み「春のクラフト&農産物マルシェ」や毎年恒例となっている「おもフェス」、「は・は・は祭」等、地元の賑わいづくりを企画・実施する活動団体を支援することで、地域の活性化に繋げている。
- ・防災意識の向上のため、地区交流センターを中心に各地区で話し合いが進められている。
- ・避難行動要支援者名簿の充実に向け、民生児童委員と連携しながら整備を進めている。

(3) 市民サービスの向上のため、自ら考え行動できる職員・職場の実現

- ・必要な情報と知識を職員間で共有しながら、来庁者への対応と業務の改善に取り組んでいる。
- ・自然災害等への対応など、地域に密着した地域局職員として係を越えた職員間でのフォロー体制を図った。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

(1) 公共施設の適正な維持管理と有効活用による賑わいの創出

- ・降雪期における道路パトロールを徹底し、除雪作業による路面破損個所の早期発見と修復のほか、支障となりそうな箇所にも早急に対処するなど安心安全な体制で取り組んでいく。また、直営、委託の除雪路線について、より効率的な作業に取り組めるよう委託業者との連携を密にして業務を推進する。
- ・雄物川中央公園、及び民家苑における冬季間の利用促進の方策を検討していく。
- ・地域局内におけるFM計画推進プロジェクト会議での協議を深め、財産経営課と連携しながら、長寿命化施設や老朽化施設の再編や今後の活用方法を進めていく。

(2) 地区交流センター及び地域で活動する団体を支援し、市民参画によるまちづくりを推進

- ・地区交流センター長会議、及び事務職員会議を今後も毎月開催し、共有した各センターの特色ある行事や事業等の情報を拡散していく。
- ・5地区交流センター共催による「防災講演会」を10月中旬に行うほか、自主防災意識を高めるための広報活動を行うなど、地域一体となった防災意識の向上を図っていく。
- ・2月の「木戸五郎兵衛村inかまくら」に向け、地元の実行委員会を主体に関係機関と連携をさらに強め、観光客へのおもてなしと地域の活力を創出する。

(3) 市民サービスの向上のため、自ら考え行動できる職員・職場の実現

- ・必要な情報と知識を職員間で共有しながら、引続き来庁者への対応と業務の改善に取り組む。
- ・地区会議や地区交流センター運営協議会へ積極的に参加することで、引続き地域課題解決に関する意見要望を吸い上げるなど、ハード、ソフト事業等の活用実績が高められるよう努めていく。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

(1) 公共施設の適正な維持管理と有効活用による賑わいの創出

- ・除排雪作業後における道路の「穴ぼこ」等については、道路パトロールを徹底的に行うことで早期発見、及び迅速かつ適切な維持補修作業を実施した。
- ・中央公園、及び民家苑の指定管理が始まり、民間活力による歴史的財産施設の有効活用が進められている。また、地元で新たに設立した地域おこし団体とのマッチングにより、イベント等における地域活力が生まれている。市民参画によるまちづくりを推進するため、今後も引続き地域で活動する団体を支援していく。
- ・地域局内の「FM計画プロジェクト会議」において、目標管理シートをベースに管内における長寿命化施設及び老朽化施設等13施設について、現状及び目標に対する活動と達成状況の確認を行った。今後、引続き市全体計画との整合性を保ちながら検討を進めていく。

(2) 地区交流センター活動の支援と市民参画によるまちづくりの推進

- ・毎月開催のセンター長会議や事務職員会議を行うことで、情報共有や職員のスキルアップが図られ、より円滑な事業運営につながっている。
- ・5地区交流センター共催による「防災講演会」等により、地域防災力の習得、及び市民への啓蒙を図った。地域一体となった防災意識の向上を図るため、今後も引続き事業を推進していく。
- ・地区会議や地区交流センター運営協議会等からの意見要望について、事業等の活用が高められるよう推進していく。

(3) 市民サービスの向上のため、自ら考え行動できる職員・職場の実現

- ・地区交流センター事業に率先して参加し、実施状況や課題について現場の声を傾聴し、改善に向けての意見交換を行った。
- ・業務改善に取り組むとともに、必要な情報や知識を市民に解りやすく丁寧に應對していく。